

# 山元町上下水道中期経営計画 令和4年度 実績評価(期末)

目指すべき方向		具体的事業	R3	R4	R5	R6	R7	着手状況	R4目標(括弧内は期限を示す)	R4期末進捗状況	進捗評価	
【強靱】 災害等に強い上下水道	施設の耐震化	上水道	①配水池耐震化事業 ②老朽配水管更新事業					配水池耐震化事業の推進 老朽管路更新工事の推進(年間100m程度)	A	①次年度に向けた準備 ②口径100mm 更新L=100m(通年)	①事業の優先度を考慮した結果、老朽管路の更新を急ぐべきこととし、配水池耐震化の準備着手はR5年度以降とした。 ②上記①を受けて、管路更新を予定より多く施工した。 口径100mm 更新L=124m	A
		下水道	①汚水管路更新事業					汚水管路更新工事の推進	A	①各種口径 更新L=100m(通年)	①各種口径 更新L=113m	A
	緊急時のバックアップ体制強化	上下水道共通	災害対策のマニュアル化・訓練の実施		マニュアルの検討策定		公表・運用		A	①災害対策マニュアル作成(通年) ②合同訓練の実施	①下水道BCPの改定版作成 ②R4.10.23 総合防災訓練における施設の合同パトロール訓練実施 R4.12.13 地下式耐震性貯水槽講習会実施(包括業者と合同)	A
			積極的な広報		お客さまへの積極的な情報提供				A	①各種媒体を使って、きめ細かな情報提供を行う。 【広報やまもと】上下水道経営情報、水道凍結防止情報、休日水道修理当番【ホームページ】上下水道経営情報、水質関連情報、指定給水装置・公認排水設備等工事業者一覧表、水道凍結防止情報、濁水解消情報 【キラリ☆やまもとメール配信サービス】応急給水情報	①各種媒体を使ってきめ細かな情報提供を行った。 【広報やまもと】予定通り実施 【ホームページ】予定通り実施 【キラリ☆やまもとメール配信サービス】実績無し	A
		地域住民や地元企業等との連携の推進		新規連携事業者の拡大 自治会に対し災害時飲料水確保のための啓発活動				A	①地元企業等との間で災害時の連携協力体制を構築 ②防災訓練で住民向けに水備蓄啓発(年1回)	①過去に町内の土井・水道・汚泥処理業者及び町外の施設維持に関連する業者等と締結した協定の現況確認を行った。 ②新型コロナウイルス対策で訓練見送りのため実施無し。	B	
【持続】 持続可能な上下水道	民間企業との連携による技術継承	上下水道共通	横浜市の横浜ウォーターとの3者協定に基づく交流の推進や事業運営ノウハウの蓄積		協定の継続的な更新 事業運営ノウハウの蓄積				A	①協定締結10年を迎える会を開催(3月) ②横浜ウォーターとの継続的な業務委託と交流(通年)	①協定締結10年を迎える会を開催(3月) ②横浜ウォーターとの継続的な業務委託と交流(通年)	A
			包括的業務委託に拡充による民間活力の活用		モニタリングの推進と現行委託の検証		次期委託に向けた準備等 業者選定等 新規委託(第3期)		A	①定期的なモニタリング活動の継続(年4回)	①定期的なモニタリング活動の継続(年4回) 包括業者との毎月の定例打合せ(12回)	A
			研修等の参加による直営職員の知識・ノウハウの向上と政策立案・実行管理等重要な業務への注力化		技術継承の推進 コア・ノンコア仕訳				A	①横浜ウォーター等を活用した技術継承の推進(通年) ②若手職員へのOJT(通年) ③業務仕訳	①横浜ウォーター等を活用した技術継承の推進(通年) 横浜ウォーターによる地方公営企業法等の研修(7月) ②若手職員へのOJT(通年) ③次期包括的業務委託発注に向けた先進自治体調査	A
			業務のマニュアル化・標準化の推進		職員ヒアリング	標準業務フローの策定	マニュアルの策定	標準業務フロー及びマニュアルの適用とブラッシュアップ		A	①業務関連研修 ②業務フローの策定	①R4.10.20 加圧式給水車操作訓練実施(包括業者と合同)ほか 4回実施 ②山元町上下水道工事共通仕様書等の基準を策定
	施設の長寿命化と計画的な更新	上水道	①水道施設(浄水設備・機器)更新事業 ②社会的に影響度の高い管路や老朽が進んでいる管路の優先更新 ③漏水調査と施設のメンテナンスによる延命					水道施設更新事業の推進 老朽管路更新工事の推進(年間100m程度) 継続的な維持管理業務の実施	A	①上増圧ポンプ更新工事 ②口径100mm更新L=100m ③漏水調査(包括委託)および不良箇所の改善	①前年度から繰越事業の上増圧ポンプの更新を行った。 ②口径100mm更新L=124.2m ③計画的漏水調査L=49.6km実施、緊急対応調査(随時)10回、合同管路パトロール3回	A
		下水道	①取付管及び支線事業 ②浄化センター設備更新事業 ③委託事業者と共同による不明水対策 ④町民への普及活動による水洗化率(接続率)の向上 ⑤積極的な施設のメンテナンスによる延命 ⑥次期ストックマネジメント計画策定					取付管及び支線工事の推進 設備更新工事の推進 不明水対策の継続的な実施 継続的な普及活動 継続的な維持管理業務の実施	A	①公共取付管4箇所、農集排取付管0箇所、枝線工事1箇所予定 ②突発対応 ③不明水発生箇所調査(包括委託で実施)および対象箇所の改善(通年) ④広報やまもと、HPへの掲載 ⑤公共下水道不明水対策工事及び機械電気設備の長寿命化計画(H28策定)に則り、計画的更新 ⑥現地調査の実施及びストックマネジメント計画の策定	①公共取付管6箇所、農集排取付管0箇所、枝線工事0箇所 ②包括業務委託者が小規模な設備更新を内製化(注)により実施 ③包括委託での不明水調査は当年度実施なし、マンホールポンプ設備等修繕10箇所 ④ホームページで下水道接続について継続して掲載 ⑤花釜処理区マンホール補修工事の実施、花釜第3マンホールポンプ監視装置外更新工事の実施 ⑥山元浄化センターのストックマネジメント計画は、日本下水道事業団と技術支援協定を締結し策定準備。 管渠のストックマネジメント計画は、YWCと策定作業開始し、R5策定予定。 (注)内製化=これまで外注で行っていた業務を、包括業務委託者の社内業務で実施すること。所要額を抑え、経費削減効果がある。	A
	様々な業務改善による経費削減	上下水道共通	施設統廃合や配水計画など効率的な施設配置の検討		統廃合計画の検討		統廃合計画の策定		A	①計画策定に向けた基礎調査の実施	①YWCと施設調査の報告及び上下水道施設更新計画業務の打合せ実施	A
			財政状況に合わせた更新需要額の平準化		平準化と着実な推進				A	①更新事業の着実な実施と将来に向けた見直し	①3年度から12年度の事業費を突出した年度がないように設定された予算に従い、R4年度は予定通り更新実施	A
		果等との連携による広域化・共同化の検討・推進		県・近隣事業者との協議		基本計画策定		A	①近隣事業者との意見交換の実施	①R4.6.16 令和4年度第1回宮城県下水道事業広域連携検討会幹事会ほか 10回参加	A	
		経営改善や執行体制確保に資する取組み		継続的な経営改善				A	①業務改善活動の実施(通年)	①業務改善活動(通年)と執行体制確保の取組み(1回)	A	
信頼される上下水道	住民ニーズの把握と対応	上下水道共通	窓口サービスの充実		土曜日の窓口開庁 お客さまへの良質なサービスの継続				A	①土曜開庁の継続 ②お客さまサービスの継続	①土曜開庁の継続 ②年度末(土日)のお客さまセンター開設	A
			積極的な広報(再掲)		お客さまへの積極的な情報提供				A	①各種媒体を使って、きめ細かな情報提供を行う。 【広報やまもと】上下水道経営情報ほか 【ホームページ】上下水道経営情報ほか 【キラリ☆やまもとメール配信サービス】応急給水情報	①各種媒体を使ってきめ細かな情報提供を行った。 【広報やまもと】予定通り実施 【ホームページ】予定通り実施 【キラリ☆やまもとメール配信サービス】実績無し	A
	広報の充実	上下水道共通	施設見学会の実施		地域住民向け施設見学会の継続的な実施				A	①小学校施設見学会(年1回)ほか、申し込みに応じ随時実施 ②中学生職業体験	①小学校及び一般の見学会について、ともに申込なし ②新型コロナウイルス対策で申し込みなし	B
			公正な料金体系のあり方の検討		精査と検討				A	①情報収集(通年)	①県内上下水道料金の状況を議会へ報告(9月) 県内上下水道料金の状況を監査員へ報告(都度)	A
		下水道	町民への普及活動による水洗化率(接続率)の向上(再掲)		継続的な普及活動				A	④広報やまもと、HPへの掲載	④ホームページで下水道接続について継続して掲載	A

<凡例>

「着手状況」の評価： 着手済 準備・検討中 未着手 中止 保留 「進捗状況」の評価： 目標以上達成 目標を達成 目標を一部未達成 目標未達成



山元町上下水道事業キャラクター  
タンクン